

お中え

梅子酒

中よは古来、一月十五日、七月十五日、十月十五日と、それより、元旦、中え、下えといひ、合わせて三えといひ、こゝに、元とは「始め」といふ所の意呼ぶ、そののぼりめのことといふ。

元といへば一月一日、元旦といへば一月一日の朝のことといふ。

この三えは道教の説んの、とるもの、太

乙(天の神)を祭り、その日を饗祭の日とし、一日中、庭上で火をいいて身を潔めるといふ習慣がある。

わがあたりは、古くは流丹の日を祀り、この日の神を祭るといふ習慣がある。

また、一か、一を二分別し、正月と、七月とその始めとする祭の方がある。

ながら、中よ風の元旦、中えは小正月・盆の節供、盆の廻礼、盆見舞といて、すん